

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5  
環境保全の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 廃棄物対策課長 長田 茂男 電話番号 0852-22-6173

事務事業の名称	一般廃棄物適正処理推進事業	
目的	(1) 対象	沿岸の住民、一般県民
	(2) 意図	海岸漂着物を円滑に処理し、沿岸住民の安全を確保するとともに、海洋環境の保全を図る。
事業概要	海岸漂着ごみの回収処理対策事業：海岸漂着ごみを円滑に処理するため、地域計画作成や海岸管理者に対する財政措置を行う。 海岸漂着ごみの発生抑制対策事業：海岸漂着ごみを減らすため、小学生から高校生を対象に海岸清掃活動や漂着物調査を実施する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	海岸漂着物等地域対策推進事業の執行割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	執行率(精算国費額) / (国費交付決定額)	取組目標値						
			実績値	97.3	92.2	92.3			
			達成率	-	92.2	92.3	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	197,585	228,383
うち一般財源(千円)	16,628	20,000

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基いた現状)

- 県内の海岸全域において海岸管理者により、地域環境保全対策費補助金による海岸漂着物対策事業を実施した。
- 海岸を有する10市町村のうち、6市町村で本補助金を利用して海岸漂着物の回収を実施した。  
【回収量】940t(県管理海岸、市町村管理海岸の回収合計量)
- 一時的な大量漂着等が発生した際に、機動的な回収が行えるよう、地元の団体と協力協定を締結した。
- 発生抑制対策事業として、小学生による漂着物実態調査(益田市)、韓国中高生と県内高校生による海岸清掃活動(松江市、出雲市)を実施した。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 補助事業実施より海岸漂着物の回収処理が進んだ。
- 地元の団体と協定を締結し、海岸漂着物の機動的な回収・処理を行う仕組みを整備した。
- H29年度、稲佐の浜の地元協議会と協力協定を締結し、H30年度モデル的に回収事業を実施することとしている。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- 限られた予算の中で全ての海岸の回収事業を実施することは難しく、優先順位を付け実施せざるを得ない状況である。
- 冬期に対岸諸国のもと思われるポリタンク等が大量に漂着することがある。
- 国内発生、国外発生に関わらず、毎年一定量の廃棄物の漂着が見られている。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- H26年度補正予算から地方負担(H29年度の補助率：原則7/10)が発生したため事業の実施には裏負担の確保が必要となった。
- 気象要因等の影響(特に北西の季節風の影響)により一度に大量に漂着することがある。
- 国内外関わらず、投棄された廃棄物が河川や海流に乗って海岸に漂着する。

### ③原因を解消するための「課題」

- 地域環境保全対策費補助金の補助率を嵩上げ、地方負担の廃止が必要。
- 対岸諸国へ対し原因究明と再発防止を働きかける必要がある。
- 廃棄物の漂着を減らすために発生抑制対策事業の継続が必要。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 国に対して、地方負担の廃止など財政措置の充実を図ることを、今後も強く要望していく。
- 国に対して、外交ルートを通じ、対岸諸国に対し原因究明と対策を強く要請するよう要望していく。
- 発生抑制対策事業として以下の事業を引き続き実施。  
(国内発生対策)小中学生を対象に漂着物の実態調査を実施し、漂着物の実態についての理解を深める。  
(国外発生対策)韓国の中高生と県内の高校生等と一緒に海岸清掃や意見交換を行い、漂着物の実態についての理解を深める。
- 限られた予算の中で有効に事業を行うため、関係機関と廃棄物の漂着状況や予算の執行状況を確認し、効率的に事業を進める。